

# 特別支援学級 3・4年

## 学びの 카테고리 「遊び・生活づくり」

第1・2学年では、願いをもって遊ぶことを通して、自分から周りの仲間へと、かかわりを広げ、一緒に取り組むよさを感じられるように活動を仕組んできた。第3・4学年では、自分が育てたい作物を作り、収穫したものを仲間と共有する活動や自分も仲間も楽しく遊べるように工夫して活動することを通して、自分の活動は自分だけでなく、周りの仲間の喜びにもつながることを経験する。仲間とよりよい関係をつくるために自分にできることはないかを自分なりに考え、その願いを実現していくことができるようにしていきたい。

7月までの学習では、たくさんのダンボールを目の当たりにすると、「自分たちの部屋を作りたい。」と願い、個々の部屋やみんなが入ることのできる部屋を作ることを繰り返した。繰り返すうちに、温泉を作ったり、道路や線路を作って遊んだりするようになり、「自分たちのまちをつくりたい」という願いに発展していった。

9月以降は、町探検に行き、自分たちでテーマを決めることで、よりまちづくりに対する具体的なイメージをもち、工夫していくことができるように活動を展開していく。

# 特別支援学級 9年

## 学びの 카테고리 「進路・余暇」

子供たちは、第9学年までに、作業学習を行うことや高等部を調べることを通して、自立心や協同心等が育まれてきた。第9学年では、卒業後の進路先や職業について調べることを通して、自分の進路について理解をする。その中で興味をもった職業について体験することを通して、働くことの意義や、やりがいを学んでいく。また、仲間と一緒に様々な余暇活動を行うことを通して、自分の好きな時間を有意義に過ごす楽しさも味わっていく。ときには身近な人と相談しながら、自己選択、自己決定することを通して、自分の将来の生き方を考えていく。

9年4組では、東京研修の企業見学において「オリエンタルランド」の特例子会社の「舞浜コーポレーション」の業務内容を見学した。生徒は、そこで働く人の姿に憧れをもち、同じ活動をしたいと願うようになり、アイロンがけの活動を行うようになった。その後、憧れの対象であるAさんと交流をしながら、アイロンがけの技術や働く上で大切なことを学ぶことを通して、「もっといろんな事業所の様子や、そこで働く人と交流したい。」と願うようになった。第2单元では、岐阜県の事業所の方と交流することを通して、体験や人から話を聞く活動の中から「働く上で大切なこと」を学んでいく。

長島ヒデキ 江口隆寛 牧村拓 平野和俊 新居豊子 土生雄一

3・4年4組

年間指導計画

「学びのカテゴリー」：遊び・生活づくり（全105時間）

特別支援学級 第3・4学年の目標	(1) 問題解決力に関わって		自分の願いをもち、何を作りたいか、どのように作りたいかなど自分の考えをもって活動すると共に、願いに向かって活動に没頭したり、次にやりたいことを考えたりすることができるようにする。									
	(2) 関係構築力に関わって		自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりするなどして活動をすると共に、誘われる、誘うなどして一緒に活動したり、相手のよいところを見付けたりすることができるようにする。									
	(3) 貢献する人間性に関わって		活動する中で、「できた。」「楽しい。」「感じたり、仲間を誘って楽しんでもらおうと願い、「一緒にできた。」「一緒にできて楽しい。」「感じたりすることができるようにする。」									
カテゴリー設定の理由	第1・2学年では、願いをもって遊ぶことを通して、自分から周りの仲間へと、かかわりを広げ、一緒に取り組むさを感じられるように活動を仕組んできた。第3・4学年では、自分が育てたい作物を作り、収穫したものを仲間と共有する活動や自分も仲間も楽しく遊べるように工夫して活動することを通して、自分の活動は自分だけでなく、周りの仲間の喜びにもつながることを経験する。仲間とよりよい関係をつくるために自分にできることはないかを自分なりに考え、その願いを実現していくことができているようにしていきたい。											
学びの基盤となる道徳的諸価値	善悪の判断、自律、自由と責任・個性の伸長・希望と勇氣、努力と強い意志・親切、思いやり・感謝・友情、信頼 相互理解、寛容・規則の尊重・勤労、公共の精神・家族愛、家庭生活の充実・よりよい学校生活、集団生活の充実・自然愛護											
学びを構成する要素	人（自分、仲間、先生） 畑 達成感 心地よさ 仲間と力を合わせて 収穫への期待 貢献 仲間喜んでくれた喜び 自分の成長											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名(時数)	「野菜を育てて楽しもう①」(20時間)		「作ってあそぼう」(15時間)	「野菜を育てて楽しもう①」(10時間)		「野菜を育てて楽しもう②」(15時間)	「作ってあそぼう」(14時間)	「作ってあそぼう」(11時間)	「野菜を育てて楽しもう②」(13時間)		「作ってあそぼう」(12時間)	
主な学習活動	「去年の畑での活動を振り返ろう」 「育てたい野菜を決めよう①」 「収穫した野菜で何をするか決めよう①」 「野菜の育て方を知ろう」 ○これまでの畑での活動を振り返る。 ○自分や全員で育てたい野菜を決める。 ○収穫した野菜で何をするか、アイデアを出し合う。 ○苗植え・水やり・草取りといった手入れの流れをつかむ。		「ダンボールであそぼう」(15時間) ○どんな遊びの場にしたいかを決定する。 ○自分たちの願いに向かって、ダンボールを使って遊びの場を作る。 ○仲間から誘われたり、誘ったりしながら遊ぶ。	「育てた野菜を収穫しよう①」 「収穫した野菜で楽しもう①」 ○育てた野菜を収穫する。 ○食べる・遊ぶ・紹介するなど、決めたことを実践する。		「育てたい野菜を決めよう②」 「収穫した野菜で何をするか決めよう②」 ○前問の経験をもとに、自分の考えをもち、伝えるようにする。 ○前問の経験をもとに、仲間の手入れを見通しをもつ。 ○自分が何をやりたいか願いをもち、行動に移す。	「○○ランドを作ってみよう①」 ○学校や町を探検する。 ○探検を基に遊びの場のテーマを決定する。 ○素材に慣れ親しみがながら、テーマに沿って、作ったり遊んだりする。 ○自分の思いを伝えたり、仲間の思いを聞いたりして、楽しい遊びの場になるように活動する。	「○○ランドを作ってみよう②」 ○テーマに向けて、これまでの活動を基に、いろいろな素材を使って○○ランドを作る。 ○作ったり遊んだりする中で、「もっと～したい。」と願い、○○ランドを作る。 ○仲間から誘われたり仲間を誘ったりしながら、できた○○ランドと一緒に遊ぶ。	「育てた野菜を収穫しよう②」 「収穫した野菜で楽しもう②」 「畑の活動をふりかえろう」 ○育てた野菜を収穫する。 ○食べる・遊ぶ・紹介するなど、決めたことを実践する。		「仲間をさそってあそぼう」 ○他の学級の仲間も誘って一緒に遊びたいと願い、そのために必要なことを考える。 ○仲間と一緒に楽しく遊ぶことを願いながら、遊びの場を作る。 ○仲間と一緒に遊んで楽しかったと実感をもつ。 ○今年の活動を振り返る。	
想定される ●シレンマ ■エラー 【道徳的諸価値】	●育てたい野菜が夏には育たない。 ●土や草を触りたくない。 ●野菜が大きくなってきているのに、虫や鳥に食べられる。 ●仲間と意見が合わない。 【希望と勇氣、努力と強い意志・相互理解、寛容・自然愛護】		●ルールを守れない。 ●自分の気持ちを伝えられない。 ●自分のやりたいことと仲間のやりたいことが違う。 【善悪の判断、自律、自由と責任・個性の伸長・親切、思いやり・規則の尊重】	●もっとたくさんの野菜を収穫したかった。 ●やりたいことはたくさんあるけれど、野菜の数には限りがある。 【感謝・家族愛、家庭生活の充実・よりよい学校生活、集団生活の充実・生命の尊厳】		●夏野菜と同じものは育てられない。 ●もっとたくさん、大きくなった野菜を収穫したい。 ●野菜がなかなか大きならない。 ●仲間と意見が合わない。 【希望と勇氣、努力と強い意志・相互理解、寛容・自然愛護】	●自分のやりたいことと仲間のやりたいことが違う。 ●もっと～したいけれど、思うように作れない。 ●もっと～したいけれど、どうやって伝えるとよいか。 【善悪の判断、自律、自由と責任・友情、信頼・相互理解、寛容・個性の伸長】	●自分のやりたいことと仲間のやりたいことが違う。 ●もっと～したいけれど、思うように作れない。 ●もっと～したいけれど、どうやって伝えるとよいか。 【善悪の判断、自律、自由と責任・友情、信頼・相互理解、寛容・個性の伸長・よりよい学校生活、集団生活の充実】	●やりたいことはたくさんあるけれど、野菜の数には限りがある。 【感謝・勤勞、公共の精神・家族愛、家庭生活の充実・よりよい学校生活、集団生活の充実】		●どんなことをするとみんなが喜んでくれるのだろうか。 ●みんなと遊ぶと、合わせる必要がある。 ●自分のやりたいことだけやれるわけではない。 ●自分もみんなも楽しむためにはどうしたらいいのかな。 【希望と勇氣、努力と強い意志・感謝・相互理解、寛容・規則の尊重・勤勞、公共の精神・よりよい学校生活、集団生活の充実】	
人材活用施設	・下級生の仲間 ・川光園芸 ・にっこり畑		・身近な場所（運動場、体育館、遊戯室、教室など）	・下級生の仲間 ・家族 ・先生 ・にっこり畑		・下級生の仲間 ・川光園芸 ・5～9年生の仲間 ・にっこり畑 ・南校舎の畑	・身近な場所（運動場、体育館、遊戯室、教室など）	・身近な場所（運動場、体育館、遊戯室、教室など）	下級生の仲間 家族 先生 にっこり畑		・4組の仲間 ・交流学級の仲間 ・身近な場所（運動場、体育館、遊戯室、教室など）	
教科等との関連	・国語：夏野菜図鑑 ・算数：いくつある？長さを測ろう ・理科：夏野菜を調べよう 野菜の成長の仕方 ・図画工作：畑の看板を作ろう		・国語：1日を振り返ろう ・算数：いくつある？ ・図画工作：遊びの道具を作ろう ・体育：体を動かそう	・国語：夏野菜図鑑 ・算数：野菜を数えよう ・理科：夏野菜を調べよう 野菜の成長の仕方 ・図画工作：収穫した野菜を描こう		・国語：秋野菜図鑑 ・社会：町探検しよう ・算数：いくつある？長さを測ろう ・理科：秋野菜を調べよう 野菜の成長の仕方 ・図画工作：畑の看板を作ろう	・国語：1日を振り返ろう ・社会：町探検しよう ・算数：いくつある？ ・理科：生きものの観察しよう ・図画工作：遊びの道具を作ろう ・体育：体を動かそう	・国語：伝えよう ・社会：町探検しよう ・算数：いくつある？ ・理科：生きものの観察しよう ・体育：体を動かそう	・国語：秋野菜図鑑 ・算数：野菜を数えよう ・理科：秋野菜を調べよう 野菜の成長の仕方 ・図画工作：収穫した野菜を描こう		・国語：伝えよう インタビューをしよう ・社会：町探検しよう ・算数：いくつある？ ・理科：生きものの観察しよう ・体育：体を動かそう	

3・4年4組 単元シート		本単元の目標		
		問題解決力	関係構築力	貢献する人間性
<b>単元名</b> 作ってあそぼう (52)		①自分の願いをもち、何を作りたいか、どのように作りたいかなど自分の考えをもって、活動することができるようにする。 ②願いに向かって活動に没頭したり、次にやりたいことを考えたりすることができるようにする。	①自分の思いを伝えたり、仲間の思いを聞いたりすることができるようにする。 ②誘われる、誘うなどして一緒に活動したり、仲間のよいところを見付けたりすることができるようにする。	①活動する中で、「できた。」「楽しい。」と感じられる態度を養う。 ②仲間を誘って楽しんでもらおうと願い、「一緒にできた。」「一緒にできて楽しい。」と感じられる態度を養う。
<b>活動の計画</b>	ダンボールであそぼう ○どんな遊びの場にしたいかを決定する。(問題①) ○自分たちの願いに向かって、ダンボールを使って遊びの場を作る。(問題②) ○仲間から誘われたり、誘ったりしながら遊ぶ。(関係②) (15)	「○○ランドを作ってあそぼう①」 ○学校探検や町探検をする。(問題①) ○学校探検や町探検を基に遊びの場のテーマを決定する。(問題①) ○素材に慣れ親しみながら、テーマに沿って、作ったり遊んだりする。(問題②) ○自分の思いを伝えたり、仲間の思いを聞いたりして、楽しい遊びの場になるように活動する。(関係①) (14)	「○○ランドを作ってあそぼう②」 ○テーマに向けて、これまでの活動を基に、いろいろな素材を使って○○ランドを作る。(問題①) ○作ったり遊んだりする中で、「もっと～したい。」と願い、○○ランドを作る。(問題②) ○仲間から誘われたり仲間を誘ったりしながら、できた○○ランドで一緒に遊ぶ。(関係②) (11)	なかまをさそってあそぼう ○他の学級の仲間も誘って一緒に遊びたいと願い、そのために必要なことを考える。(貢献①) ○仲間と一緒に楽しく遊ぶことを願いながら、遊びの場を作る。(問題②) ○4組や交流学級の仲間を誘って遊ぶ。(関係②) ○活動を振り返る。(貢献②) (12)
<b>加除修正欄</b>	・家を作りたいと願いをもち、活動を展開した。			
<b>想定される姿</b>	・ぼくは、～な遊びの場にしたいな。 ・みんなはどんなことがしたいのかな。 ・たくさんダンボールを積んで作ろう。 ・もっと大きくしたいな。 ・できた○○ランドで遊ぶと楽しいな。	・こんな4組ランドにしたいな。 ・まずは、思った通りに作ってみよう。 ・もっとこうするといいんじゃないかな。もっとこうしてほしいな。□□さんに伝えよう。 ・何か物足りないな。うまくいかないな。実際に行ってきたいな。	・～を使って、○○ランドを作りたいな。 ・どの材料をつかうとできるかな。 ・もっと～を作りたいな。 ・□□さんと一緒に遊ぶと楽しいな。 ・学級のみんなで、生きものになりきって、かくれんぼをしたいな。	・1・2年4組の仲間も誘って遊びたいな。 ・交流学級の仲間を誘いたいな。 ・楽しく一緒に遊べるように、頑張って○○ランドを作ろう。 ・一緒に遊べて、楽しかったな。仲間と一緒に活動するのはうれしいな。
<b>実際の姿</b>	・自分(たち)の部屋を作りたいな。 ・車を作って乗りたいな。 ・家ができたから、まちにしたいな。 ・屋根を作るには、こうすればいいんだよ。			
<b>●エラー</b> <b>●ジレンマ</b>	■ルールを守れない。	■もっと～したいけれど、どうやって伝えるとよいか。	●自分のやりたいことと仲間のやりたいことが違うみたいだ。	●みんなと遊ぶと、合わせる必要があるな。自分のやりたいことだけやれるわけではないんだな。
	■思うように作れないな。	■もっと～したいけど、思うように作れないな。		

3・4年4組 本時案 (遊戯室)

目標

「4組生きものランド」を作って遊ぶ活動を通して、みんなで楽しむことのできる遊びの場にしたいという願いをもとに、遊びの場を一緒に作ったり、遊んだりすることができる。(関係構築力)

本時 (36/52)

活動内容 (○教師の発問 ・ 予想される児童生徒の発言)	○教師の手立てと見届け						
	A児	B児	C児	D児	E児	F児	
<p><b>1 これまでの活動と今日の願いを確認する。</b> ○今日はどんなことがしたいですか。 ・今日は木のエリアを作りたいな。 ・生きものを増やしたいな。 ・最後にみんなでかくれんぼができるように隠れる場所を増やしたいな。</p>	ねらい	仲間から誘われながらやりたいことを明らかにして、活動することができる。	自分の思いを伝えたり、仲間の思いを受け入れたりして一緒に活動することができる。	仲間の活動を真似したり、仲間の誘いを受け入れたりして、一緒に活動することができる。	仲間や教師の誘いを受け入れて、一緒に活動することができる。	仲間を誘って、一緒に活動しようとすることができる。	やりたいことやしてほしいことを仲間に伝えながら、一緒に活動することができる。
<p><b>みんなで4組生きものランドをつくらう。</b></p> <p><b>2 必要なものを準備し、生きものランドを作る。</b> ・ダンボールをたくさん積むと、木になりそうだな。□□さん、一緒にやろうよ。 ・隠れることができるように、中に入れるようにするといんじやないかな。みんなに手伝ってほしいな。 ・ビニール袋で生きものをもっと作ろう。</p> <p><b>3 できた部分を紹介する。</b> ○今日の頑張りをみんなに伝えよう。 ・今日はみんなでかくれることができる大きな木を作ったよ。あとでみんなで入りたいな。 ・ビニール袋を使ってこんな生きものをつくったよ。 ・□□さんと一緒にたくさんダンボールを積んだよ。</p> <p><b>4 作った遊び場で遊ぶ。</b> ・生きものになりきって遊びたいな。 ・かくれんぼをしたいな。みんなでかくれようよ。</p> <p><b>5 本時の活動を振り返る。</b> ○作ったり、遊んだりしてどうでしたか。 ・みんなで入れるかくれがを作ることができてよかったよ。 ・□□さんが手伝ってくれてうれしかったよ。 ・だんだんと生きものランドが出来上がってきたね。</p>	手立て	○やりたいものを発想することができるよう、見学に行ってきた場所の写真や調べたことなどを掲示しておく。 ○お互いにかかわり合う必然が生まれるように、環境を設定する。 ・ダンボールや画用紙などの材料を置く場所 ・作る範囲など ○したいことが明らかにできるよう、声を掛けたり例示したりする。 ・□□さんが～しているよ。 ・たくさん並べたらどうか。 ○活動の様子から本人の思いを汲み取り、代弁する。 ○できたことを価値付ける。	○やりたいことを仲間に伝えるよう促す。 必要に応じて代弁する。 ・～がしたいのだね。□□さんに伝えたらどうか。 ○本人の活動とテーマとを結び付けるような価値付けを行う。	○写真など示しながら、何をを使って、どんなことがしたいのかを一緒に考える。 ○仲間の活動の様子を見て、真似するとよいことを伝える。 ○できたことを価値付ける。	○一緒に楽しむことができるように、声を掛ける。 ・□□さんが～をしているよ。一緒にやってみたらどうか。 ○本人の活動とテーマとを結び付けるような価値付けを行う。	○仲間の活動に目を向け、助言をするとよいことを伝える。 ・□□さんが困っているよ。どうするといかないか。 ○仲間にどのように声をかけるとよいか、具体的に示す。 ○できたことを価値付ける。	○自分の思いを仲間に伝えるよう促す。 ・～がしたいんだね。みんなに伝えてみたらどうか。 ○仲間にどのように声をかけるとよいか、具体的に示す。 ○できたことを価値付ける。
<p><b>目標に迫った姿をどのように見届けるか</b> みんなで楽しむことのできる遊びの場にしたいという願いをもとに、遊びの場を一緒に作ったり、遊んだりしている。(関係構築力) ・活動の様子や発言から見届ける。</p>							

9年4組

年間指導計画

「学びのカテゴリー」：進路・余暇（全105時間）

特別支援学級 第9学年の目標	(1) 問題解決力に関わって		自分の目指す姿を決めることを通して、願いをもって活動に取り組むことができるようにする。 願いの実現に向けて試行錯誤することを通して、よりよい自分になるために自己選択をして、行動することができるようにする。										
	(2) 関係構築力に関わって		自分や仲間のよさや苦手なことを知り、自他の願いの実現に向けて助言し合いながら取り組むことができるようにする。 仲間と共に活動に取り組むよさを感じ、相手や場面に相応しい言動をすることができるようにする。										
	(3) 貢献する人間性に関わって		体験的な学習から、自分と社会とのつながりを実感し、自分の生活に生かそうとする態度を養う。 企業の方やお客さんに関わることから、仲間や社会で生活する人が喜ぶことを考え、仲間と共に行動しようとする態度を養う。										
カテゴリー設定の理由	子供たちは、第8学年までに、作業学習を行うことや高等部について調べることを通して、自立心や協同心等が育てられてきた。第9学年では、卒業後の進路先や職業について調べることを通して、自分の進路について理解をする。その中で興味をもった職業について体験することを通して、働くことの意義や、やりがいを学んでいく。また、仲間と一緒に様々な余暇活動を行うことを通して、自分の好きな時間を有意義に過ごす楽しさも味わっていく。ときには身近な人と相談しながら、自己選択、自己決定することを通して、自分の将来の生き方を考えていく。												
学びの基盤となる道徳的諸価値	自主、自律、自由と責任・節度、節制・向上心、個性の伸長・希望と勇氣、克己と強い意志・思いやり、感謝・友情、信頼・遵法精神、公德心・社会参画、公共の精神・勤労・よりよく生きる喜び												
学びを構成する要素	人(自分、仲間、先生、高等部の先生、卒業した先輩、事業所の方) 夢 進路 休日の過ごし方 附属小中学校 進路先の学校 貢献 やりがい 長所 短所 喜び 困難 社会人として マナー お金 施設利用												
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
単元名(時数)	「今後の進路を考えよう」(30)			「何して過ごす？」(10)		「働くって、どういうこと？」(40)			「何して過ごす？」(15)		「これまでの自分・これからの自分」(10)		
主な学習活動	○進路先について、パンフレットやインターネットを使って調べる。 ○学校見学会を通して進路先を自分で見聞し生活の見直しをもつ。 ○障がい者雇用に関する企業を見学し、卒業後の働く様子について学ぶ。 ○舞浜コーポレーションとトップガンが「働く上で大切なこと」の共通点をまとめ、そうなるために生活で何を意識して生活すればいいかを考える。 ○舞浜コーポレーションが行っていたアイロンかけ業務を体験してみる。 ○アイロンかけ方を自分たちで調べ、よりきれいにできるようにする。 ○アイロンかけをやっている様子を仲間同士で見合いアドバイスを伝え、そのことをもとに次にどのように頑張りたいか目標を再設定する。 ○これまで練習してきた成果を舞浜コーポレーションの社員の方にってもらいアドバイスをいただく。 ○これまでの活動を振り返り自分や仲間のよさについて話し合うことで、自分のよさや課題を再確認し、自立に向けて、自分の生活の目標を決める。			○4組の仲間が楽しめる遊びを計画する。 ○春休みやGWにどんなことを過ごしたのかを交流する。 ○夏休みにしたいことをまとめ、計画を立てる。 ○夏休み前に実践し、どんな気持ちになったのかを交流する。		何を して 過 ご し た こ と が 一 番 楽 し か つ た か、 記 録 す る	○事業所の方の働いている様子を見学したり、話を聞いたりする中で「働く上で大切なこと」とは何か考え、仲間と交流し、まとめる。 ○職場体験をした自分の姿を仲間や働いている方のアドバイスから振り返り、次は何を頑張りたいか目標を再設定する。 ○前回は異なる事業所で職場体験を行う。 ○自分が立てた目標を意識しながら職場体験を行う。 ○アドバイスを基に目標を再設定し、家族に作ったものを送りたいと願いをもち、そのために精一杯努力し、紙袋を届けることができる。 ○事業所での職場体験を通して、自分たちがこれまで立てた目標と実際の姿の経過を振り返り交流する。 ○自分や仲間のよさについて話し合うことで、自分の良さや課題を再確認し、それを踏まえたうえで、将来の職業について考える。 ○職場体験を終え、「働く上で大切なこと」を再構築する。			○お金を使って、やりたいことを考える。 ○活動場所までの行き方や、活動内容について仲間と一緒に考える。 ○公共交通機関を使い、活動場所まで移動し、仲間と一緒に活動する。 ○主日の休みにどんなことをして過ごしているのかを交流する。		○これまでの自分の成長を振り返る。 ○高等部や高等学校に行くまでに、どんな自分になりたいか目標を立てる。 ○卒業までの残り期間、毎日自分の姿を振り返る。 ○これまでお世話になった方へ感謝の気持ちをどう伝えるか交流する。 ○後輩に伝えたい思いを整理する。 ○後輩に自分たちの思いを発表する。	
想定される●ジレンマ ■エラー 【道徳的諸価値】	■自分の進路先になる学校は、どんな学校なのか分からない。 ■将来の仕事は先のことよく分からない。 ■自分はどんな目標を立てればいいのか分からない。 ■2つの特例子会社が大切にしていることで共通することを見つけるのが難しい。 ●聞きたいことは、インタビューで聞くといいいのか自分たちで見つけたいのかどちらかな。 ●仲間と言われた自分のよさや課題が、自分が思っていたのと違うな。自分と仲間の意見とどちらが正しいかわからない。 ●仲間から丁寧にアイロンかけをしてと言われたけど、もっと素早くやった方がいい気がするからどちらを優先すればいいかわからない。 【自主、自律、自由と責任・節度、節制・向上心、個性の伸長・希望と勇氣、克己と強い意志・思いやり、感謝など】			■自分が遊びたい遊びが決まらない。 ■どんな遊びかわからない。 ■いかにやりたくないか。 ●自分が遊びたい内容と、仲間が遊びたい内容と、仲間が何をみんなでするか決まらない。 【節度、節制、思いやり、感謝など】			■どこで職場体験しよう。 ■それぞれの事業所の「働く上で大切にしたいこと」の共通点でなんだろう。 ■仕事の内容を聞いたけど、上手くできるかな。 ■目標に向けてどうやってやるのかな。 ■注意されたどうしたらよかったのだろう。 ●仲間と話していることが伝わらない。ゆっくり伝えたい方がいいのかな、分かりやすい言葉に変えた方がいいのかな、どちらが伝わらないのかな。 ●いつか働く上で大切なことはあるけどそれを目標にしたいらいいんだろう。 ●仲間や事業所の方からアドバイスだけ、仲間の意見と事業所の意見を大切にしたいらいいんだろう。 【向上心、個性の伸長・希望と勇氣、克己と強い意志・社会参画、公共の精神・勤労・自主、自律、自由と責任など】			■お金を使ってどんなことができるかな。 ■活動場所までどうやっていけばいいのかな。 ●仲間と自分の楽しいことが違うな。どの活動がいいかな。 ●仲間と自分でお金を何に使うかが違うな。どうしたいのかな。 【節度、節制・友情、信頼・遵法精神、公德心・社会参画、公共の精神など】		■自分のできるようになったことをどうやって伝えるといいかな。 ■誰に伝えるといいかな。 ●同じ作業班でも後輩に伝えたいことが違うな。何を引き継ぐといいかな。 ●伝えたいことが仲間と違うな何をつたえたいといいかな。 【希望と勇氣、克己と強い意志・思いやり、感謝・よりよく生きる喜びなど】	
人材活用施設	・高等部のことを知っている身近な先生 ・附属小中学校を卒業した先輩 ・進路先の学校の先生 ・障がい者雇用を推進している企業の方			・学級や4組の仲間 ・先生 ・図書館 ・商業施設			・4組の仲間 ・事業所の方 ・実際に事業所で働く方 ・地域の事業所			・学級や4組の仲間 ・先生 ・図書館 ・商業施設		・4組の仲間 ・お世話になった先生 ・附属小中学校の校舎	
教科等との関連	・国語：話し方、聞き方 メモの取り方 見てきたことを話す まとめ方(レポート) ・家庭科：アイロンのかけ方			・国語：その日の出来事(お礼)を振り返ろう 分かりやすく説明しよう ・数学：数と数量 ・体育：ゲーム運動			・国語：相手に応じた話し方、聞き方 体験したことをまとめよう 手紙の書き方(お礼) ・数学：数を数える 計量の仕方 ・家庭科：正しい服装 衛生(水の入れ方、机のふき方) 正しい掃除の仕方			・国語：話し方、聞き方 ・数学：お金の計算		・国語：話し方、聞き方 手紙の書き方 ・数学：まとめ方(プレゼン)	

9年4組単元シート		本単元の目標					
単元名 働くって、どうということ？ (40)		問題解決力		関係構築力		貢献する人間性	
		①自分の興味のあることを進んで調べることができるようにする。 ②職場体験の目標を自己決定し、目標を行動に移すことができるようにする。		①活動している仲間のよさや働かされている方のすごさに気付くことができるようにする。 ②仲間を励ましたり、アドバイスしたりすることができるようにする。 ③仲間や事業所の方の思いや考えを肯定的に聞いたり、考えを伝えたりできるようにする。		①自分の姿やまわりの言葉から自分の頑張りを振り返り、もっと頑張りたいと願いをもととする態度を養う。 ②精一杯活動することで、相手が喜ぶものができることが分かるようにする態度を養う。	
活動の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分達が気になった事業所では、どんな仕事をしているのか調べたり、実際に見学したりする。(問題①)</li> <li>事業所の人々が働いている様子を見学したり、話を聞いたりする中で「働く上で大切なこと」とは何かを考え、仲間と交流し、まとめる。(関係①)(4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○興味や関心をもった事業所で職場体験をする。(問題①)</li> <li>○「働く上で大切なこと」を元に、職場体験をしている仲間の様子を見て、アドバイスすることができる。(関係①)</li> <li>○職場体験をした自分の姿を仲間や働かされている人のアドバイスから振り返り、次は何を頑張りたいか目標を再設定する。(貢献①)(10)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分達が気になった前回とは異なる事業所で職場見学を行う。(問題①)</li> <li>これまで行った事業所と今回行った事業所で「働く上で大切なこと」の共通点は何かを考え、交流しまとめる。(関係③)</li> <li>これまでの職場体験と話し合いでまとめた、「働く上で大切なこと」を基にこれから頑張りたい目標を立てる。(貢献①)(4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分が立てた目標を意識しながら職場体験を行う。(問題②)</li> <li>○「働く上で大切なこと」を基に、職場体験をしている様子を事業所の人に見てもらいアドバイスをいただく。(関係②)</li> <li>○アドバイスを基に目標を再設定し、家族のために作ったものを送りたいという願いをもち、そのために努力し、紙袋を作ることができる。(貢献②)(17)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所での職場体験を通して、自分達がこれまで立てた目標と実際の姿の経過を振り返り交流する。(関係③)</li> <li>事前にまとめた「働く上で大切なこと」と、職場体験で学んだことを照らし合わせ、「働く上で大切なこと」を再構築する。(貢献②)(5)</li> </ul>		
加除修正欄	<ul style="list-style-type: none"> <li>働く上で大切なことを東京研修で行った事業所からまとめることができました。</li> </ul>						
想定される姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の周りにある事業所で、行っている仕事内容や働いている人の様子が分かる。</li> <li>これまでの自分の姿と比べながら、「働く上で大切なこと」とは何かを考え、仲間と交流し、まとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所で体験してみて、働くことの楽しさや大変さが分かる。</li> <li>働いているときの自分の姿や事業所の方のアドバイスから、活動の目標を振り返る。</li> <li>自分のよさや可能性に気づき、活動の目標を見直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回と異なる事業所でも、「働く上で大切にしたいこと」は共通していることに気付く。</li> <li>事業所で共通している「働く上で大切なこと」とこれまでの自分を振り返り、改めて自分の目標を立てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標を意識しながら職場体験を行う。</li> <li>家族に渡すためにより良い製品を作りたいと願い、もっとよい製品を作るためにはどうしたらよいか事業所の方からアドバイスをもらい、次の活動に生かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場体験を通して学んだことを、もう一度、「働く上で大切なこと」としてまとめる。</li> <li>もっと成長したいという願いをもつ。</li> </ul>		
実際の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの自分の姿とこれまで行った事業所から、「働く上で大切なこと」を現段階でまとめることができました。</li> </ul>						
●シレンマ ■エラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>■働く上で大切なことをどう考えたらいいんだろう。</li> <li>■目標に向けてどうやってやるのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■共通点が分からないな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■これから何を目標にしようかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●いくつか働く上で大切なことはあるけどどれを目標にしたらいいいんだろう迷うな。</li> <li>●仲間や事業所の方がアドバイスだけど、仲間の意見と事業所の意見どれを大切にしたらいいんだろう。</li> </ul>			

9年4組 本時案 (9年4組教室)

目標

紙袋を分担して作ったり、事業所の方から話を聞いたりする活動を通して、働く上で自分に必要なことを知りたいという願いを基に、これから生活する上での目標を明らかにして生活に生かそうとする思いをもつことができる。(貢献する人間性)

本時 (32/40)

活動内容 (○教師の発問 ・ 予想される児童生徒の発言)	○教師の手立てと見届け					
		A児	B児	C児	D児	E児
<p><b>1 活動の確認を行い、見直しをもつ。</b> ○紙袋作りをする姿を山下さんに見てもらいましょう。</p> <p>紙袋作りの活動を通して、学んだことを伝えたり、話を聞いたりして、今後の目標を決めよう。</p>	ねらい	これまで学びや本時の助言から、自分の頑張りを振り返り、目標を考えることができる。	山下さんの助言から、頑張らなくてはいけないことに気付き、目標を考えることができる。	これまでの本時の学びと今の自分を比べ、足りない部分に気付き、目標を考えることができる。	集中して紙袋作りに取り組み、周りの助言をもとに、目標を教師と決めることができる。	集中して紙袋作りに取り組み、周りの助言をもとに、自分で考え、目標を決めることができる。
<p><b>2 紙袋作りをする。</b> ○紙袋作りをする姿を山下さんに見てもらいましょう。</p> <p><b>3 紙袋作りで頑張ったことを伝え、山下さんから話を聞く。</b> ○紙袋作りで頑張ったことを伝え、山下さんから聞こう。 ・丁寧な言葉づかいで次の人に製品を渡すことができたよ。 ・折り目を強く付けることで、次の人がやりやすくなるように頑張ったよ。 ・きれいに紙袋を折ることができたよ。</p> <p><b>4 日常生活の中で頑張ってきたことを伝え、山下さんから話を聞く。</b> ○日常生活の中の何を頑張ってきたのか伝え、山下さんから話を聞こう。 ・授業が始まる前までに席に着くことを頑張ったよ。 ・朝運動で音楽が鳴り終わるまで走り続けることを頑張ったよ。</p> <p><b>5 自分を振り返り、これからの目標を立てる。</b> ○これからの日常生活の目標を書こう。 ・山下さんの話から、自分の目標を少し変えようかな。 ・私の目標は、できているかどうか分かりづらかったから、もっとできたかできないか分かる目標にしよう。 ・自分は、シャツが出てしまう時があるからいつもシャツをしまっけて身だしなみを整えたいな。 ・教室の中に入って来た先生や仲間にあいさつできていないから入ってきたら自分からあいさつがしたいな。</p>	手立て	<p>○本時は、紙袋を作り、その姿を見てもらって助言をもらい、今後どうしたらよいか考える時間だと伝え、見直しをもてるようにする。</p> <p>○以前、山下さんに教えてもらったことを元に自分が何を意識したか話すように促す。</p> <p>○働く上で大切にしてほしいことを聞いた後に、これからの自分の目標を考え、記入する場を位置付ける。</p> <p>○いつ、どこでなにを頑張ってきたのかを具体的に話すように促す。</p> <p>○山下さんの話で自分ができるところはなか問い、自分の頑張りを認めつつ目標を考えるように促す。</p>	<p>○特に頑張っていたことは何かを自分で考えるように促し、自分の言葉で話せるようにする。</p> <p>○山下さんの話と事業所が大切にしていたことを確認し、目標を考えるように促す。</p>	<p>○紙袋作りを始めた頃と今の様子を比べ何ができたかを具体的に話すように促す。</p> <p>○どの部分をより良くするためにどんな目標を立て、どう頑張ったのか伝えるように促す。</p> <p>○山下さんの話と自分を比べ、足りない部分に気付き、目標を考えるように促す。</p>	<p>○「頑張っていたことは何。」と問い、その答えを元に教師と共に頑張りを振り返る。</p> <p>○山下さんの話で大切だと思ったことを教師と確認し、考えるようにする。</p>	<p>○「頑張っていたことは何。」と問い、その答えを基に自分で振り返り、自分の言葉で話すように促す。</p> <p>○自分の目標と、それがどのくらいできてきたのかを話すように促す。</p> <p>○山下さんの話を確認するように促し、自分で考えられるように促す。</p>
<p><b>目標に迫った姿をどのように見届けるか</b> 働く上で大切なことを知るために、紙袋を分担して作っている姿を事業所の方に見てもらい、自分の頑張ったことを伝えることを通して、これからの作業や生活する上での目標を明らかにして生活に生かそうする思いをもっている。(貢献する人間性) ・発言やワークシートの記述から見届ける。</p>						